

学校名 おげがわしりつかのうちゅうがっこう 桶川市立加納中学校
所在地 埼玉県桶川市大字加納1279番地
電話 048-728-3061

1 本校の概要

本校は、JR桶川駅より北北東に約3キロの田畑に囲まれ緑の多い場所に、昭和56年に開校した。開校当時の生徒数は580名、14学級であったが、現在は生徒数約300名の小規模校である。本年度から「ひと・もの・こととのかかわり」を通して「豊かな心」の育成を研究主題として取り組んでいる。

2 本校の実践の概要

(1) 全校一斉朝読書

本校の朝読書の取組は平成14年に始まった。埼玉県が行っている「5つのふれあい県民運動」の一つの「本とのふれあい」をどのように推進していくかということが始まりであった。「動と静のけじめ」「心の教育」が本校の課題であったことも相まって、計画から実施までに時間はかからなかった。わずか10分という短い時間ではあるが、教室も職員室も静寂の中で読書をするということが定着している。

朝の時間の流れ

- ・職員打合せ 8:15 ~
 - ・生徒登校 8:20
 - ・朝読書 8:25 ~ 8:35
 - * 担任は教室で読書
 - ・出席確認 8:35
 - * 担任が呼名及び諸連絡
 - ・授業開始 8:45
- 読書記録カード

読んだ本を毎日カードに記録する。記録内容は日付、題名、作者、読んだページ数。

(2) 図書室の充実と図書委員会の活動

学校図書館教育補助員と司書教諭により、生徒が活用しやすい図書室経営に心がけてい

る。例として第2図書室の設置、書架の斜め配置や読書テーブルを円形にするなど。また、生徒の委員会活動として毎月図書室だよりを発行している。廊下に「私の推薦図書」のコーナーも設けている。

(3) その他の活動

国語の選択授業で読書案内をつくり、図書室前に掲示して紹介する。また、作家や作品についての新聞づくりをしている。

総合的な学習の時間を利用して図書室の使い方のオリエンテーションを行い、本の紹介や本の検索の練習も行っている。



朝読書



図書室の本の紹介



図書室掲示



図書室の円形テーブル

3 成果と今後の課題

読書は豊かな心の育成、動と静のメリハリのある学校生活などにも効果は大きい。小・中学生の本離れは様々な調査で明らかであるが、そんな中で本校の読書の取組は地味ではあるが成果は上がっていると感じている。実際に、生徒の感想でも「朝読書を始めてから本が好きになった」「家でも本を読むようになった」「心が明るくなった気がする」「授業に集中できるようになった」などの感想が多い。教師からも、朝読書の時間を20分にしたいという声がかかるようになった。本校の研究テーマの「心の教育」との関連付けを今後研究していきたい。